

平成 26 年 度 事 業 計 画 書

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

公益財団法人 日本興亜福祉財団

東京都文京区関口 1 丁目 4 7 番 1 2 号

平成26年度事業計画

I. 在宅で高齢者を介護する家族の交流及び研修支援事業

○目的

わが国においては後期高齢者の増加に伴い、認知症患者の増加が予測されており、家庭における介護の重要性はますます高まっている。認知症高齢者を介護する家族のストレスは高いものの、介護者の心理面のケアをサポートする行政の対応策は充分でなく支援ニーズは極めて大きくなっている。この事業は介護家族の交流・研修を通じて、日々の介護の癒しと介護のレベルアップに寄与することを目的としている。

○内容・費用

「認知症の人と家族の会」と協力し、介護家族を中心に医師、看護師、介護ヘルパー等による研修・交流会への助成を行う。今年度は20支部程度の実施を目標とする。（費用約800万円）

II. 介護福祉士養成のための奨学金の給貸与の事業

○目的

高齢化の進展に伴い介護サービスの提供の重要性はますます高まっているが、福祉の分野では離職率が高く常に優秀な人材が不足している状況にある。福祉の現場の教育されたマンパワー不足の解消のため、介護福祉士をめざす学生の育成を図ることを目的として介護福祉士を目差す学生に奨学金を給与する事業である。

○内容・費用

「社会福祉士及び介護福祉士法」により指定を受けた専修学校より推薦を受けた学生の中から、選考委員会を経て、1年生10名を決定する。

1名あたり年額36万円を支給する。（2年生10名を含め、年間延20名に対し支給する）（費用約770万円）

III. ジェロントロジー（老年学）研究への助成事業

○目的

高齢者や高齢社会をめぐる諸問題を明確にし、この解決に向けて基盤となるジェロントロジー（老年学）、特に社会科学分野（社会福祉学、心理学、社会学等）の研究に助成することにより豊かな長寿社会の建設に貢献することを目的とする事業である。

○内容・費用

「ジェロントロジーに関する社会科学分野における独創的・先進的な研究」をテーマとした研究を、大学・研究所・高齢者施設等に広く公募し、選考委員会を経て決定する。併せて、平成22年度実施の研究の集約・報告書の作成・発表を行う。費用約800万円。

IV. ジェロントロジー（老年学）研究事業

○目的

高齢者や高齢社会をめぐる諸問題を明確にし、この解決に向けての研究を通じて、豊かな長寿社会の発展のために貢献することを目的とする事業である。

○内容・費用

社会老年学研究所において、我が国やアジア社会が抱える高齢社会についての問題の解決に資するべく調査研究を継続実施するとともに、研究成果を広く社会に還元する。（費用約400万円）

1) 研究事業

- ① 香港、東京、シンガポールにおける都市の歩きやすさと高齢者の健康の関係に関する国際比較研究
- ② 大都市における高齢者と若者の共棲による世代間交流と社会的孤立予防プログラムの開発
- ③ 日本と韓国の定年退職者の社会参加に関する国際比較研究
- ④ 環太平洋5か国における社会的孤独に関する国際比較研究
- ⑤ 日本・韓国・台湾・中国におけるソーシャル・キャピタルに関する国際比較研究
- ⑥ 日本とアメリカの高齢者のソーシャル・キャピタル国際比較研究など

2) 研究成果の社会還元

公開セミナーの講師、書籍の出版、マスコミや業界紙などの取材を通じて研究成果を社会に還元する。

以上